

## 2023年 電波伝搬実験概要

de JA1RIZ

コロナについては、政府方針で2類から5類扱いで対応策も緩やかになり、移動しやすくなった状況もあり？ 今年の移動各局は、1、2及びφエリアから移動ポイント:10(コントロール局除く)の地域から参加をいただきました。

参加局は固定からのワッチ局を含め、14局でした。

Esの影響もなく、天候にも恵まれ、全般的には良好な状態ではなかったかと思います。

ただ、自局機器からのノイズで受信状態が芳しくなかった局があったようです。

天候は、各地とも晴れ又は曇り、気温:10~24℃であったとのこと。

コントロール局をはじめ各局たいへんお疲れ様でした。

### (1) 各局の位置関係

移動の各局の位置関係は、資料「②-2 2023年電波伝搬実験交信結果表の位置関係・エリア図」の通りです。

今回はJM1LZT/1 及びJH1LRT/1 局が最も北の地点であり、JA2KAE/2 局が最南端、最東端はJJ1SXA/1 局、最西端はJR2CTR/φ局が位置していました。

### (2) 最長交信距離

最も遠距離交信だったのは、両局ともモバイルアンテナ設備の交信としては、JJ1SXA/1 (茨城県つくば市・筑波山中複) ⇔ JR2CTR/φ (長野県木曾郡・御嶽スカイライン) でした。共にRS=53で交信成立しました。

伝搬距離は238.44Kmでした。単純計算の見通し距離= $4.12(\sqrt{2086} + \sqrt{543}) = 284.18\text{km}$  で遮へい物がなければ見通しですが、見通し図(プロフィール)を切ってみると、筑波山からほぼ160Kmあたりには2700mほどの山岳が大きな遮蔽あってこのあたりが相当な減衰になったようですが、交信に成功しています。

あり、ほぼ見通しの状態だったのでしょう。

2位は7L2WVR/1 (群馬県・赤城山) ⇔ JR2CTR/φ 166.68km でした。WVR局はQRP/5Wでしたが受信RS=58、CTR局からは53のレポートを受けています。見通し距離は340km余りの関係なので遮へいがなければ59/59でのコンタクトが可能な位置関係でしょう。

### (3) 最多ポイント交信

8P/7L2WVR/1、JM1LZT/1、7P/JJ1SXA/1

JM1LZT局とJH1LTR局は近距離のため当然交信はできたはずですが、両局どうしの分はノーカウントとして扱いました。

GBE局はJA2KAE局の受信不調及びJH1LTR局とのすれ違いがなければ2P-UPだったでしょう。同様なことで、SXA局も2P-UPだったでしょう。

長丁場の実験では、コンタクトできるのに互いのタイミングがずれて”繋がらない”ということも発生するのはあるもやむを得ないことでしょうか？

注目は、JK1GBE局は標高1550mhの高所からの運用にもかかわらず、伝搬距離36.8kmのJE1VGJ局、46.4kmのJA1VWB局とQSOできなかったことです。遮へいとなる地形が近傍にあると減衰が大きくなって繋がりにくくなるという現象になっていると思われます。

(実際の離隔距離/単純見越し距離)

・QSO 不可

JE1VGJ/1 (36.8km / 244.4km)

JA1VWB/1 (46.4km / 215.5km)

コントロール局は固定ANTの威力もあり、さすがに全10ポイントをカバーしました。

### (4) その他

- ① 実験タイムは、おおむね統制は取れていたと思います。
- ② 資料「③—1～3 各局との距離表」を添付していますので、各局との相互関係を確認してみてください。

固定局からのレポートは1本でした。移動局の電波は固定局に対してどこまで飛んでいるのか、又、自局の受信エリアの確認のためにも、参加局自身のお役に立つ部分あると思いますので、固定からも大いにレポートして頂けると幸いです。

最後に、移動の各局及びその他参加してレポート送付頂きました各局、メインコントロール局、そして、遠地への移動などご協力頂いた各局各位には大変お疲れ様でした。

(実験結果は、別紙ご参照下さい。) 2023/JUN/30

以上